

# Wismettac Letter

ウィズメタックレター

ビジネスレポート

## Business Report

2021.1.1-2021.12.31



世界の食産業にかかわる課題を解決し、  
新たな価値を創造・提供するグローバルソリューションカンパニー

### もっと知りたい! 西本Wismettacホールディングス

## 今回は日本における新規事業の2つをご紹介します

#### 食×新しいライフスタイル

#### 中食ライブキッチン・テイクアウト専門店「WisChef™」をオープン

昨今の働き方改革やコロナ禍の影響で外食産業市場は大きく変化しました。特に高級店はこの影響を大きく受けており、急速に変化する市場への対応が急務となっております。そこで当社グループは高級店の新たな収益モデル確立のため、中食ライブキッチン事業「WisChef™」を開始いたしました。

本事業はレストランが大きな設備投資なしに始められるクラウドキッチン事業を採用、店舗は中食(テイクアウト)専門店として展開し、お店の味と品質はそのままに身近な価格設定となっております。提供される料理の種類の豊富さや、シェフが目の前でメイン料理をふるまうライブキッチン、そして出来立てを持ち帰れることが特徴です。

併せて予約販売をサービスの軸とし必要な分だけ食材を仕入・調理することによって、廃棄ロスを削減、店内で使用するプラスチック削減にも努め、サステナブルな未来に向けて貢献してまいります。



中食ライブキッチン事業の概念図



#### 食×医 (ヘルスケア)

#### 胃がん手術後など、消化に不安のある方向けの食品「食卓の名医™」を新規開発

当社グループは医師や管理栄養士の監修のもと、胃がん手術後など、消化に不安のある方向けの食品を取り揃えた新ブランド「食卓の名医™」を立ち上げました。

幅広く、消化機能に不安を抱える方へ安心して食べる喜びを感じていただける、新しいカテゴリーの冷凍食品「消化にあんしん™シリーズ」を開発しました。本シリーズは全て「凍結含浸法」という特許技術を施してやわらかく加工しており、消化に不安を抱える方も食べやすい食品です。商品開発では胃がんにより胃を切除された方を対象に試食モニターを行い、消化の良さややわらかさ、準備の簡便性について高い評価をいただきました。

#### 試食モニターや利用者の声を反映



創業以来培ってきた食のグローバルなネットワークを活かし、「モノ(食)」によるソリューションに加え、「デジタル・サービス」によるソリューションを展開しながら、食産業の販路が抱える様々なニーズ／イシューを解決する企業を目指します。

代表取締役会長兼社長 CEO 洲崎 良朗



株主・投資家の皆様におかれましては、日頃から格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは1912年に創業し、2022年に110周年を迎えます。食の安全性・法令遵守はもちろんのこと、現地のニーズにあった商品開発、安定供給・現地生産を強みの柱として、創業以来グローバルに食の業界をリードしてまいりました。

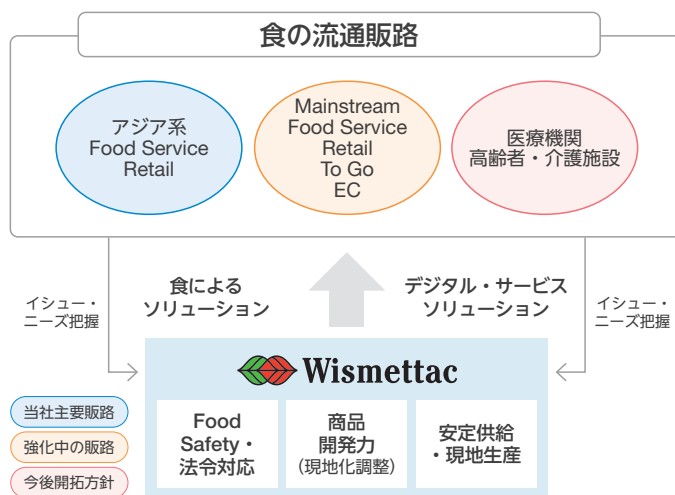
これからの10年、更には100年後を見据えた持続可能な成長に向けて、食品・食材の安定供給や新規開発など既存の強みを活かした「食によるソリューション」と、DX化が進む食産業において様々なニーズ／イシューを解決するための「デジタル・サービスソリューション」を、複数の販路でグローバルに展開するビジネスモデルを目指してまいります。

アジア食グローバル事業においては、コロナ禍の影響により高まった内食化・中食化の需要を満たす商品開発・供給は、今後も欠かせないものになると考えております。既存のアジア系外食産業・小売業向け販路を成長させながら、メインストリーム系と呼ばれる現地系販路への参入を進め、更なる収益力の強化を目指してまいります。

また、昨年度のビジネスレポートでもお示しさせていただいている、新規事業開発に向けた積極的なアプローチも継続してまいります。特に、「医／ヘルスケア」の領域における医療食販路については、2021年度に国内での新規事業を開始いたしました。今後もより一

層、医療食の新規開発を進めながら、医療機関や高齢者・介護施設向け販路開拓を推進する所存です。

また、上記のビジネスモデルを実現すべく、スタートアップや大学・研究機関などとも連携して課題解決に適合する技術を発掘し、日本を含めた海外五地域（北米、欧州、中国、日本、東南アジア）において、当社グループが有するグローバル・ネットワークの強みを活用しながら、クロスボーダーでソリューションを展開する体制の構築を目指してまいります。



## 2021年12月期の事業の概況

2021年の業績としましては、売上高は2,132億円(前期比447億円増)、営業利益は73億円(前期比53億円増)、経常利益は72億円(前期比54億円増)、親会社株主に帰属する当期純利益は50億円(前期比40億円増)と増収増益となりました。

セグメント別で見ますと、日本食を中心とするアジア食グローバル事業におきましては、コンテナの遅延など全世界的な物流混乱の中、在庫コントロールに注力しながら需要が回復したレストラン向け商材を中心に安定した商品供給に努め、前期比で増収となりまし

た。あわせて、デリバリー・テイクアウト・グロサリー向け商品の拡充、原材料・海上運賃・人件費等の費用増加を想定した早期の価格調整、および販売管理費の削減等、様々な施策を実施することにより増益となりました。

農水産商社事業におきましては、上半期においては台湾産パインの特需や在庫水準の適正化に努めた結果、前期比で増収を確保したものの、下半期においては緊急事態宣言の長期化や国産品との競合により主力の輸入青果の需要が低迷したこと、また国内飲食店の営業時間規制が緩和された後も外食産業等の需要回復が遅れた結果、前期比で微減となりました。利益面では、ハイシーズンの第3四半期において損失が生じたこと等により、減益となりました。円安

## 2022年12月期の取り組みと見直し

新型コロナウイルス感染症の収束に向けた段階において不確実性の高い事業環境は継続するものの、世界的に経済活動の順調な回復基調が見込まれる中、新たな販路の開拓や事業領域での事業立ち上げ等、更なる事業基盤の拡充に組み、着実な成長を目指してまいります。一方で、世界的な物流の混乱を受けた原材料・海上運賃・人件費等の費用増加は、足元の収益状況に対して影響を及ぼしつつあり、特に北米地域における人件費を中心とした物流関連費用の上昇傾向は、今後も継続するものと想定されます。このような事業環境の下、当社グループは、ビジネスモデルの変革や成長の機会を捉えるための投資に加えて、倉庫オペレーションや物流システ

による仕入原価上昇や、全世界的な物流の混乱により需給予測にもとづく在庫コントロールが困難となる中、在庫回転を優先した販売施策の実施が利益を減少させる結果となりました。

### 2021年12月期 経営成績

売上高	2,132億円
営業利益	73億円
経常利益	72億円
親会社株主に帰属する当期純利益	50億円

ムの改善、省人化の推進等、既存の事業基盤強化を目的とした投資も積極的に継続してまいります。

以上をふまえ、2022年度は、売上高は2,400億円(前期比267億51百万円増)、営業利益は50億円(前期比23億1百万円減)、経常利益は47億円(前期比25億4百万円減)、親会社株主に帰属する当期純利益は33億円(前期比17億28百万円減)となる見通しです。なお、為替レートは1米ドル=110円の想定としております。

足元の事業環境等を鑑みた保守的な見通しとはなりますが、引き続き中長期的な企業価値の向上を目指して取り組んでまいります。

	FY2021 実績	FY2022 予想	
売上高	2,132億円	2,400億円	+267億円
営業利益	73億円	50億円	△23億円
経常利益	72億円	47億円	△25億円
親会社株主に帰属する当期純利益	50億円	33億円	△17億円

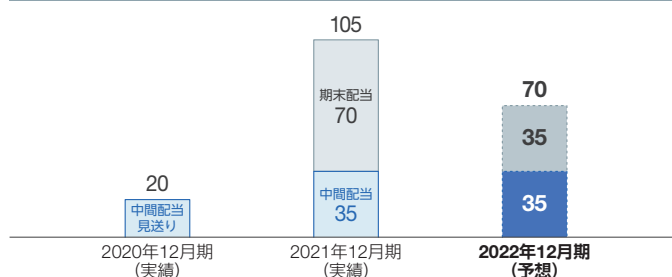
## 株主の皆様へ

当社は、将来の事業展開と財務体質強化のための内部留保を確保しつつ、通期での連結配当性向30%を目安とし安定的な配当を継続して実施することを、株主の皆様に対する利益還元の基本方針としております。2021年度につきましては通期配当で105円とし、上場以来の最高配当となりました。2022年度につきましては、このような方針および前述の業績見通しをふまえ、普通株式1株につき中間35円、期末35円、合計で年間70円の配当を予定しております。

また、当社は、東京証券取引所の市場区分見直しに伴い、「プライム市場」を選択する旨の申請書を提出いたしました。プライム市場の基準項目のうち、「流通株式比率35%以上」の達成が、当社にとってプライム市場の上場維持の課題となります。この課題達成のために、2025年12月までの4年間の計画期間において、事業環境や株式市場の動向等を考慮しながら、法人大株主ならびに個人大株主

に対する当社株式の一部売却や公募増資等、取り組みの検討および実施により、流通株式比率向上を目指してまいります。株主・投資家の皆様におかれましては、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 1株当たり配当額







担当者へ聞く

# Wismettac Voice

今回は中食ライブキッチン事業「WisChef™」・新ブランド「食卓の名医™」  
に関わる担当者へインタビューを行いました。



Wismettac Business Development Company  
ライフスタイルグループ  
ディレクター  
**山田 重樹**  
(やまだ しげき)

## ● 西本Wismettacホールディングス株式会社

**Q** 「WisChef™」の立ち上げについて、苦労したことや、やりがいについてお聞かせください。

新たな試みには常に大きなハードルが立ちますが、本事業は特に利害関係者が多いという面で苦労が多かったと感じています。外食事業者に加え、中食プラットフォーム事業立上・運営に必要なパートナーなどと、事業目的を共有しながら進めていくことに多くの時間と労力が必要でした。ただ後述するビジョンが揺るぎないものであると確認する良い機会にもなりましたし、外食事業者と消費者双方のためになるとの強い思いが大きなやりがいに繋がっています。

**Q** 今後はどのようなパートナー企業を増やしていきたいですか。

消費者のライフスタイル変化に、能動的に対応する強い意志をもった企業を想定しています。現状維持に危機感を持ちつつ、変化することへの恐怖心を、弊社と協同で拭い去ることに躊躇しない企業とパートナーを組み、同じ目標に向けて進んでいきたいと考えています。

**Q** 本事業を通じて、果たしたい今後のビジョンを教えてください。

消費者のライフスタイル、特に購買チャンネルが多様化する中、自社のみでその変化に対応できない飲食事業者へ、新たなチャンネルへ参入するサポートを提供したいと考えています。現在は外食事業者の中食チャンネルへの参入ですが、将来はその枠に留まらず、良質な商品・サービスを有する事業者と、潜在的にそれらを欲する消費者の間に立つ存在として、双方に新たな価値を提供していきたいと考えています。



Wismettac Business Development Company  
ヘルスケア&メディカルグループ  
**宗田 美咲**  
(そうだ みさき)

**Q** これまでのキャリアで今回の事業に活かされたことはありますか。

前職の総合社では新規投資の実行や事業会社の経営管理を担当し、事業戦略および事業計画の策定とその実行を経験しました。今回、ゼロから新規事業を創出するにあたり、前職で培った経験を活かし、市場リサーチから事業戦略を策定しお客様のニーズに合う商品およびサービスの企画を行うことができたと思います。一方、今回のプロジェクトにおいて、多様な関係者を巻き込み一から事業立ち上げを行ったことは、今後のキャリアで強みとなる経験でした。

**Q** 「食卓の名医™」の立ち上げについて、苦労したことや、やりがいについてお聞かせください。

描いた事業戦略や商品・サービスを実現することはチャレンジングでした。美味しく種類豊富な商品の開発、ECサイトや販売発送システムの構築、業務委託先と連携しながらのオペレーションの立ち上げなど、チーム一丸で常に試行錯誤をしながらローンチまで辿り着きました。新事業創出は苦労も多いですが、ご購入いただいたお客様から「このような商品を持っていました。これからも頼りにしています！」といったコメントをいただくと、一人でも多くの消化にお悩みのある方に商品をお届けしたいというモチベーションに繋がります。

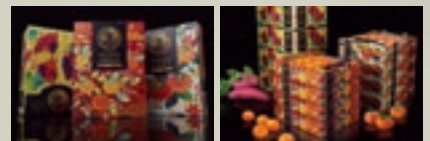
**Q** 「食卓の名医™」では今後どのようなシリーズ(商品)を増やしていきたいですか。

2022年1月に「消化にあんしん™やわらかおせち」を販売し、これまで消化への不安からおせちを食べることを控えていたお客様などに喜んでいただくことができました。消化に不安をかかえる方でも、ご家族やまわりの方と同じように特別な日の食事を楽しんでもらいたいと考えていますので、引き続き行事食のラインナップを増やしていきたいです。そして、今後もお客様からのご要望をお聞きし、食べていただく方に寄り添った商品開発をしていきたいと思います。

## News & Topics

### SUGOIブランドの外装箱が『日本パッケージングコンテスト2021』に入賞

公益社団法人日本包装技術協会主催の『日本パッケージングコンテスト2021』にて、当社のSUGOIブランドの外装箱が『日本貿易振興機構理事長賞』を受賞しました。日本らしい和柄や目を引く色合い、機能面においても積載効率性の向上が可能となる点が評価されました。今後もより良い商品開発とサービスの提供へ取り組んでまいります。



レンゴー株式会社より提供

## 株主優待のご紹介

株主の皆様の日頃のご支援に感謝し、年1回株主優待を実施しております。



### 株主優待制度の概要

#### ① 対象となる株主様

毎年12月末日現在の当社株主名簿に記載または記録された、当社株式1単元(100株)以上を保有されている株主様

#### ② 優待の内容(2021年度)

当社グループが運営する商品購入サイト「NISHIMOTO WORLD GIFT」でご利用いただけるクーポンコード(1クーポンコード=3,000円相当)を記載した優待券を、定時株主総会決議のご通知に同封し、贈呈いたします。

保有単元数(保有株式数)	クーポンコード個数
1~3単元(100株以上400株未満)	1個(3,000円相当)
4~6単元(400株以上700株未満)	2個(6,000円相当)
7単元以上(700株以上)	3個(9,000円相当)

※1回の商品ご購入で、1クーポンコードのみご利用いただけます。

WebサイトURL

<https://www.hello-worldgift.com/>

スマートフォン・携帯電話はこちらからアクセス

★初めてご利用の方は会員登録が必要です



2021年12月末日時点の株主様にご送付するクーポンコードのご利用期間 **2022年4月~2022年12月末日**

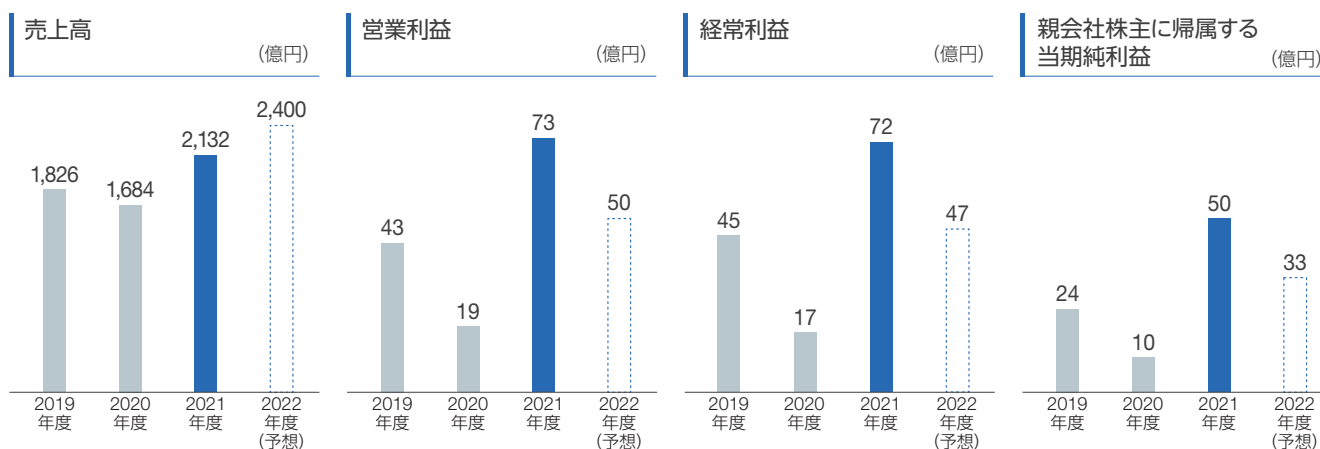
お問合せ先

Wismettacフーズ株式会社ワールドギフトカスタマーサービス

**0120-096-810**

9:00~17:00  
(土日祝、年末年始休業日を除く)

		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(予想)
売上高	(億円)	1,826	1,684	2,132	2,400
営業利益	(億円)	43	19	73	50
経常利益	(億円)	45	17	72	47
親会社株主に帰属する 当期純利益	(億円)	24	10	50	33
純資産	(億円)	523	508	598	—
総資産	(億円)	965	1,136	1,417	—
1株当たり純資産	(円)	3,646.41	3,515.28	4,141.34	—
1株当たり当期純利益	(円)	173.71	70.80	350.34	229.92
自己資本比率	(%)	54.2	44.4	41.9	—
ROE	(%)	4.8	2.0	9.2	—



## 2021年12月期 セグメント別の概況

売上高構成比 (%)



### ホームページのご案内

当社のホームページでは、事業内容やニュース&トピックス、西本Wismettacグループの概要についてご紹介しています。また、株主・投資家情報のページでは最新の財務・業績の情報のほか、IRに関するニュース、IRライブラリーなど様々な情報をご提供しています。是非一度ご覧ください。



西本ウィズメタック

検索

<https://www.wismettac.com/ja/index.html>

## 一 会社概要

社名	西本Wismettacホールディングス株式会社 (英名)Nishimoto Co.,Ltd.
創業	1912年5月
本社所在地	東京都中央区日本橋室町三丁目2番1号 日本橋室町三井タワー15階
資本金	2,646,177,532円

## 一 役員 (2022年3月30日現在)

代表取締役会長兼 社長 CEO	洲崎 良朗	取締役 (常勤監査等委員)	木村 敦彦
取締役	辻川 弘	社外取締役 (監査等委員)	能見 公一
取締役CFO	佐々 祐史	社外取締役 (監査等委員)	大村 由紀子
取締役 グローバルCDO	行徳 セルソ		

## 一 国内・海外拠点

### 〈日本〉

西本Wismettacホールディングス株式会社  
 ・東京本社、神戸本店(※登記本店)

Wismettacフーズ株式会社

・東京本社、神戸本店(※登記本店)、神戸支店、沖縄駐在員事務所

### 〈北米〉

Wismettac Asian Foods, Inc.

・Los Angeles Office (Corporate Headquarters)、Arizona Office、Atlanta Office、Chicago Office、Dallas Office、Denver Office、Miami Office、Hawaii Office、Houston Office、Las Vegas Office、New York Office、San Diego Office、San Francisco Office、Seattle Office、Washington, DC office、Toronto Office、Vancouver Office、Montreal Office、Orlando Office、Boston Office (Satellite Office)、Sacramento Office (Satellite Office)、Calgary Office (Satellite Office)、Ohio Office (Satellite Office)、Raleigh Office (Satellite Office)

### 〈アジア〉

Wismettacフーズ株式会社

・バンコク駐在員事務所、ホーチミン駐在員事務所、ソウル駐在員事務所

慧知旺食品商貿(上海)有限公司

愛品盟果業貿易(上海)有限公司

NTC Wismettac Singapore Pte.Ltd.

Ban Choon Marketing Pte. Ltd. (2022年1月子会社化)

慧思味達日本食品有限公司

### 〈オセアニア〉

NTC Wismettac Australia Pty Ltd.

・Sydney Office, Melbourne Office, Perth Office, Brisbane Office

### 〈ヨーロッパ〉

NTC Wismettac Europe B.V.

Wismettac Harro Foods Limited

SSP Konsumgüter TRADE & CONSULT GmbH

・Berlin Office

COMPTOIRS DES 3 CAPS SAS

・Comptoirs Oceaniques

・Tropic Fish

Sco-Fro Group Limited

## 一 株式の状況

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式総数	14,353,140株
株主数	5,265名

## 一 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
多津巳産業株式会社	6,235	43.4
洲崎良朗	2,910	20.3
公益財団法人洲崎福祉財団	1,300	9.1
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS	560	3.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	543	3.8
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002	260	1.8
株式会社日本カストディ銀行(信託口9)	217	1.5
GOVERNMENT OF NORWAY	187	1.3
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	173	1.2
FIDELITY INVESTMENT TRUST : FIDELITY JAPAN FUND	137	1.0

(注1) 上記の持株数は千株未満を切り捨てて記載しております。

(注2) 持株比率は、自己株式153株を控除して計算しております。

## 一 株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎事業年度末日の翌日から3か月以内
基準日	12月31日
剰余金の配当の 基準日	中間配当 毎年 6月30日 期末配当 毎年12月31日
1単元の株式数	100株
取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
公告掲載方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法によって行います。 公告掲載URL <a href="https://www.wismettac.com/ja/ir/e-announce.html">https://www.wismettac.com/ja/ir/e-announce.html</a>

## 世界の食の架け橋として貢献

Wismettac(ウィズメタック)とは



「地球それ自体」と「Globalism」をイメージした2つの球体を

・革新の「赤」+自然の「緑」  
・「より健康で豊かな食生活へのあくなき挑戦の意思」

社名の「W」「M」「C」をモチーフとして造形化

【Wisdom】…西洋智

【Metta】…東洋智

(パーリ語: 優しさ/思いやり)

【Creativity】

…価値の創造力

## 西本Wismettacホールディングス株式会社

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町三丁目2番1号 日本橋室町三井タワー15階

Tel: 03-6870-2015 Fax: 03-6870-2016

